

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公表番号】特表2011-520372(P2011-520372A)
 【公表日】平成23年7月14日(2011.7.14)
 【年通号数】公開・登録公報2011-028
 【出願番号】特願2011-507916(P2011-507916)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 1/00 (2006.01)

H 0 3 M 13/45 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 1/00 B

H 0 3 M 13/45

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月13日(2012.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロトコル層に対応するプロトコルデータユニット(11)を受信するステップであって、前記プロトコルデータユニットのフォーマットが、制御データのための少なくとも1つの制御フィールド(12)と、前記制御データに関連付けられたエラー検出符号のための少なくとも1つのエラー検出フィールド(13)と、サービスデータのための少なくとも1つのサービスフィールド(14)とを含む、受信するステップと、

制御データの誤った状態を検出するために、プロトコルデータユニットのエラー検出符号を検査するステップと、

誤った状態が検出されたときに、制御データのための有限の組の候補値を決定し、その組の候補値に関連付けられたエラー検出符号値を決定するステップであって、制御データのための候補値はプロトコルデータユニットに対して外部の情報に応じて決定され、前記外部の情報は制御データについての予備知識を含む、決定するステップと、

受信されたプロトコルデータユニットの制御データと、それぞれの候補値との第1の相関を決定するステップと、

受信されたプロトコルデータユニットのエラー検出符号と、それぞれの候補値に関連付けられたエラー検出符号値との第2の相関を決定するステップと、

前記第1の相関および前記第2の相関に応じて、その組の候補値の中で、制御データのための訂正值を選択するステップ(15)とを含む、伝送エラーを回復するための方法。

【請求項2】

より上位のプロトコル層復号器にサービスデータを引き渡すステップのために、制御データの訂正值を使用するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

プロトコルデータユニットを受信するステップが、プロトコルデータユニットに対応する一連の軟判定データ(100)を受信するステップを含み、より上位のプロトコル層復号器にサービスデータを引き渡すステップが、サービスフィールドに対応する軟判定データ(14)を引き渡すステップを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項 4】

プロトコルデータユニットを受信するステップが、プロトコルデータユニットに対応する一連の軟判定データ(100)を受信するステップを含み、プロトコルデータユニットの制御フィールドに対応する軟判定データに応じて、第1の相関が決定される、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

プロトコルデータユニットを受信するステップが、プロトコルデータユニットに対応する一連の軟判定データ(100)を受信するステップを含み、プロトコルデータユニットのエラー検出フィールドに対応する軟判定データに応じて、第2の相関が決定される、請求項1から4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

候補値を決定するステップが、制御フィールドの第1の部分のための単一の候補値を決定するステップと、制御フィールドの第2の部分のための複数の候補値を決定するステップと、制御フィールドの、第1の部分の単一の候補値を、第2の部分の各候補値と組み合わせるステップとを含む、請求項1から5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

第1の相関が、受信されたプロトコルデータユニットの制御フィールドの第2の部分の制御データと、制御フィールドの第2の部分のそれぞれの候補値との間で計算される、請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

候補値を決定するステップが、層内冗長性(16)を使用する、請求項1から7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

受信されたプロトコルデータユニットが、第1のプロトコル層(L)に対応し、受信されたプロトコルデータユニットにおいては、サービスフィールドが、カプセル化によって、第2のプロトコル層(L+1)に対応するプロトコルデータユニットを伝送するように働き、候補値を決定するステップが、第1のプロトコル層と第2のプロトコル層との層間冗長性(17)を使用する、請求項1から8のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

第1のプロトコル層におけるプロトコルデータユニット(40)の制御フィールドが、プロトコルデータユニットのサービスフィールドの長さを記憶するための第1のサブフィールド(49)と、プロトコルデータユニットのサービスデータの伝送速度を記憶するための第2のサブフィールド(47)とを含み、第2のプロトコル層におけるプロトコルデータユニット(50)が、次の第2の層のプロトコルデータユニットを伝送するための期間を記憶するための第3のサブフィールド(61)を含み、

それ以前に受信された第2の層のプロトコルデータユニットにおける第3のサブフィールドの値に応じて、第1のプロトコル層における制御フィールドの第1のサブフィールドおよび/または第2のサブフィールドのための候補値を決定するステップ(66)を含む、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

プロトコルデータユニットを受信するステップが、一連のデータ(100)を受信するステップと、一連のデータにおいてあらかじめ定義されたプロトコルデータユニット識別子を検出するステップとを含む、請求項1から10のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

プロトコルデータユニットが、ワイヤレス伝送チャネル(65)から受信される、請求項1から11のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

プロトコル層の仕様、層間冗長性、層内冗長性、およびプロトコルデータユニットが受信される通信のコンテキストを含むグループにおいて選択された少なくとも1つのソースから、プロトコルデータユニットに対する前記外部の情報を得るステップをさらに含む、

請求項 1 から 1 2 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 4】

プロトコル層に対応するプロトコルデータユニットにおける制御データを回復するためのデバイスであって、前記プロトコルデータユニットのフォーマットが、制御データのための少なくとも 1 つの制御フィールドと、前記制御データに関連付けられたエラー検出符号のための少なくとも 1 つのエラー検出フィールドと、サービスデータのための少なくとも 1 つのサービスフィールドとを含み、

プロトコルデータユニットを受信するための入力手段 (1) と、

制御データの誤った状態を検出するために、プロトコルデータユニットのエラー検出符号を検査するためのエラー検出符号検査手段 (2) と、

制御データのための有限の組の候補値を決定し、制御データのための候補値はプロトコルデータユニットに対して外部の情報に応じて決定され、前記外部の情報は制御データについての予備知識を含み、その組の候補値に関連付けられたエラー検出符号値を決定し、受信されたプロトコルデータユニットの制御データと、それぞれの候補値との第 1 の相関を決定し、受信されたプロトコルデータユニットのエラー検出符号と、それぞれの候補値に関連付けられたエラー検出符号値との第 2 の相関を決定し、前記第 1 の相関および前記第 2 の相関に応じて、その組の候補値の中で、制御データの訂正值を選択する、ように動作可能な制御データ訂正手段 (6) と

を含む、デバイス。

【請求項 1 5】

制御データの訂正值に応じて、サービスデータを処理するための処理手段 (3) をさらに含む、請求項 1 4 に記載のデバイス。

【請求項 1 6】

処理手段 (3) が、デバイスの出力 (4) においてサービスデータを引き渡すように動作可能である、請求項 1 5 に記載のデバイス。